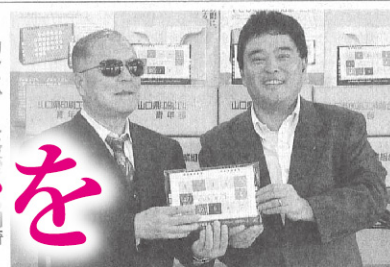


山口県盲人福祉協会に MUDカレンダーを 4年連続寄贈

山口県印刷工業組合青年部は「9月印刷の月イベント」として
2014年9月25日 山口県盲人福祉協会に
MUDカレンダー300部を寄贈しました。

カレンダーを披露
会長(右)と外
長 岡崎



点字カレンダー
盲人協会に贈る
県印刷工業組合

県印刷工業組合(下関市)の青年部は25日、県盲人福祉協会(同)に15年の卓上点字300部を贈る。社会貢献活動として11年から毎年点字カレンダーは印刷資材など34社の協力で制作した。点字で目にはよく見えないが、かきけるのが苦手な人や、やさしいよう、色遣いや模様を工夫している。

贈呈式で、青年部の岡崎吉男会長(48)が「お手元に置いていただき、1年間お付き合いください」と話した。



2015年MUD点字カレンダー-贈呈式



メディアユニバーサルデザインの点字カレンダー やさしいCalendar²⁰¹⁵



色覚に障がいのある方は、健常者と同じように「色」を認識することができません。健常者には異なる「色」に見えるものでも同じ色に見えたりします。そこで考えられたのが「ハッチング」という効果です。柄を入れることによって認識できる幅を広げるといえるものです。そのハッチングの効果を使って四季を楽しんで頂けるようデザインしております。

【どんな人にも公平に伝える】

カレンダーとしての基本情報は高齢者、色覚障がい者、弱視者など全ての人に公平に伝えられるよう、文字の背景色を白にすることで見やすさを考慮し、色覚障がい者の方にも土日祝を判別できるようバックにうすくハッチング効果等を施しております。目の不自由な方にも使用していただけるよう透明インキで点字も入っています。

【どんな人にも使いやすく】

カレンダーの左右には月ごとにタブを設けています。これにより2枚一緒にめくってしまう事がなくなり、めくりやすい設計になっています。更に見たい月に簡単に移動することもできます。タブにも点字が印刷してあるので、目の不自由な方にも同じように利用していただけます。

印刷の月とは…

毎年9月は印刷の月と呼ばれています。これは、日本の活版印刷の先覚者である本木昌造先生の遺徳を偲び、各地で「印刷が情報・文化・生活価値を通じていかに社会に貢献しているかを社会に理解してもらう月間」として、各地で活動が行われています。

そこで、私たち山口県印刷工業組合青年部では、「すべての方に優しくわかりやすく」を合言葉に「情報が正しく伝わるように」とメディアユニバーサルデザインの普及と啓蒙活動を行っています。